

「ヨロンのタカラ探し」

茶花小学校 6 年生

授業：海洋教育



令和 2 年度与論町海洋教育

01号

昨年度から与論町教育委員会では日本財団からの支援を受け海洋教育パイオニアスクールを導入しました。平成 29 年度から実施していた茶花小学校の取組を参考に、町内の小・中・高等学校が連携して行う「地域連携型」というスタイルで海を通じた学びの活動を行っています。与論町教育委員会を含め全国 10 の地域が「地域連携型」で海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加しています。



グループワークの様子



各グループの発表



事務局田畑への質問タイム

5月15日、茶花小学校6年生の海洋教育の授業に参加させていただきました。テーマは「ヨロンのタカラ探し」。地域の良さや課題を考え、テーマを設定し、探究の計画を立てていきます。年度末の「島っこアイデアコンテスト」では授業を通して出たアイデアが発表される予定です。

当日の授業では、海洋教育推進協議会事務局2名も、それぞれ島内・外出身者として考える与論の魅力、課題についてお話をさせていただきました。

魅力、課題点が見えてきたところで、テーマ別にグループに分かれ、与論の魅力をもとにした町おこしのためのアイデアを出し合いました。テーマは「特産品、伝統・文化、海、環境」などが選ばれていました。今後どのような体験を通し、探究を深められるかも考え始めていました。授業の終わりには各グループから話し合った内容の発表もあり、各グループの興味深いアイデアの共有ができる時間も設けられていました。

今後、授業で進められる探究活動、出てくるアイデアが楽しみです。

取材：

与論町海洋教育推進協議会事務局

取材日：2020.05.15